

# 介護支援ボランティア制度の実施状況等について

## 1 制度の概要

- 高齢者が、生きがいを感じながら地域貢献や社会参加活動を行うことで、いつまでも元気で暮らせるよう、ボランティア活動を奨励し、介護予防を推進する制度
- 高齢者（65歳以上の市民で登録研修を受講し、ボランティア登録を受けた方）が、特別養護老人ホーム等でボランティア活動を行った場合に「ポイント」を取得でき、貯まったポイントに応じて交換金を受け取ることで、実質的に介護保険料や介護保険サービス利用料等に充てることができるもの（平成25年7月開始）

## 2 実施状況【平成27年3月1日現在】

○ボランティア登録者 1,393人 【8月1日現在 1,533人】

	男	女	計
65～69歳	94人	404人	498人
70～74歳	138人	459人	597人
75～79歳	78人	155人	233人
80～84歳	28人	29人	57人
85歳～	1人	7人	8人
計	339人	1,054人	1,393人

○受入機関 235か所 【8月1日現在 257か所】

- 通所介護 89か所
- グループホーム 45か所
- 介護老人福祉施設 31か所

○受入可能人数/日 864人（受入機関指定申請時の申告人数の合計）

## 3 活動実績報告、ポイント交換申請状況（7月31日現在の集計値）

○3月13日付けで通知

申請書類等

- ①活動実績報告書兼ポイント交換申請書
- ②ボランティア手帳の写し

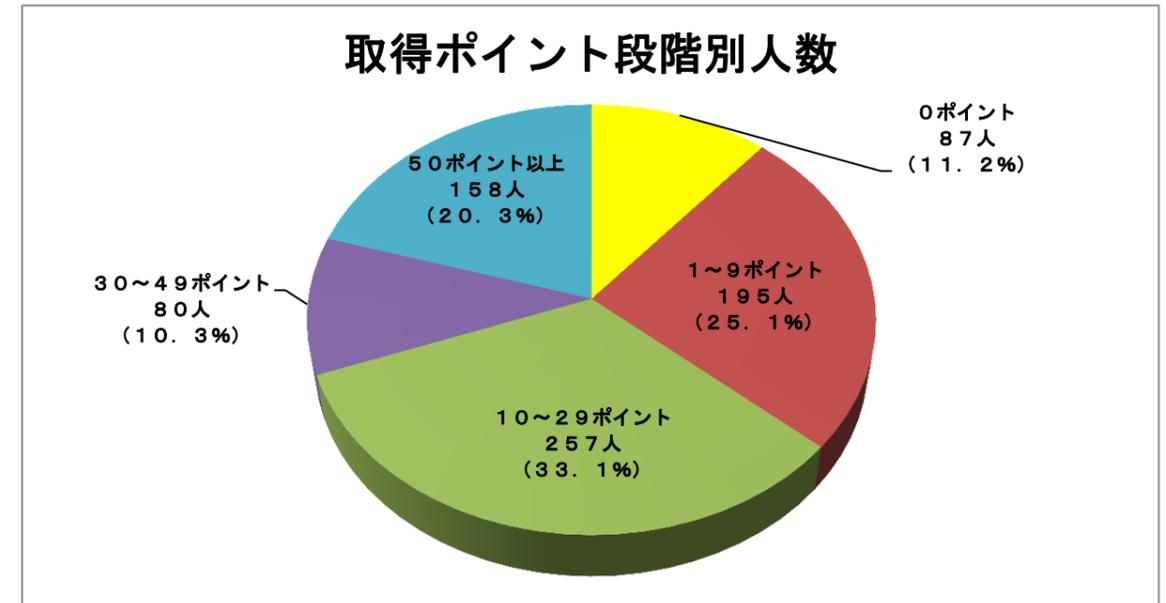
締切り6月30日（当日消印有効）

○6月2日付けで再通知

5月26日までの未申請者（約700人）あて

○活動実績報告書兼ポイント交換申請書提出者：777人

取得ポイント合計：20,503ポイント



○研修月別平均取得ポイント

	平成25年度 登録者	平成26年度					計
		6月	8月	11月	1月	その他	
提出者数	525	84	58	61	23	26	777人
取得ポイント	16,770	1,740	814	557	196	426	20,503
平均	31.9	20.7	14.0	9.1	8.5	16.4	26.4

○ポイント交換状況

	人数	割合	ポイント
繰越し	159人	32.1%	4,097
寄附	47人	9.5%	1,264
保険料	289人	58.4%	9,928
計	495人		15,289

○ボランティア登録者1,393人のうち、実績報告・ポイント交換申請書の提出者は55.8%の777人である。

○取得ポイントの平均は26.4ポイント、ポイント交換者（10ポイント以上）は495人で、平成25年度活動分（7月事業開始）の14.7ポイント、241人と比較して増加している。

○研修月が遅くなるに連れ、取得ポイントの平均が少ない傾向にある。

○ポイント交換者のうち、159人（32.1%）が将来の介護サービス利用料に充てるために繰

越しを選択している。

- 実績報告・ポイント交換申請をしない者は、9ポイント以下が多数であると予想される。ただし、ポイントのないボランティア活動等を行っている者も含まれている。

#### 4 在宅高齢者に対するボランティア活動への対象拡大に向けたモデル事業

ポイント付与の対象を高齢者の在宅生活を支援するためのボランティア活動にも拡大することを検討するため、平成26年12月より以下の2つの活動をモデル事業として選定。

選定に当たり、利用者から実費以外の負担を求める活動は対象外とした。

- (1) あんしんケアセンター誉田のオレンジカフェ（認知症カフェ）
- (2) 西小中台団地自治会の生活支援活動、いきいきサロン

※生活支援活動の主な内容

粗大ごみの運搬、電球交換、水漏れ修理、通院の付添など

#### ○実施状況

活動実績報告書兼ポイント交換申請書提出者：17人

	提出者	取得ポイント	平均
あんしんケアセンター誉田	2人	3ポイント	1.5ポイント
西小中台団地自治会	15人	※211ポイント	14.0ポイント

※うち生活支援活動による取得ポイントは32ポイント

#### ○実施状況の確認等

生活支援活動は、実施日、活動内容、活動者等を記載する活動日誌を管理帳票とした。

西小中台団地は、生活支援活動等をコーディネートする管理組合事務所で自治会長がポイントを管理している。

#### 5 ボランティア活動支援の取組み

- 初めて活動する方が活動を始めやすいよう、登録研修の際にグループ交流の時間を設け、ボランティア同士の“ヨコのつながり”を深めてもらう。
- ボランティア登録の約1か月経過後にアンケートを実施し、活動状況を把握するほか、受入機関を選択する際に支援を必要とする方に情報提供等を行う。また、社会福祉協議会を案内し、活動先を紹介してもらうなど、ボランティアと受入機関のマッチングを図る。
- 受入機関に事業所の特徴、イベント等の詳細情報を記載する情報提供シートを作成してもらい、ボランティアが受入機関を選択する際に参考として利用できるようにする。